



てき丸君News 第17号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

第25回理事会を開催

当連合会の第25回理事会を7月14日に開催しました。

今回の理事会では、①委員会委員等の選任について、②平成27年度適正処理推進事業等活動支援金交付について、③保存期間経過後会計関係書類の処分について、の3つの議案を審議し、来年度税制改正要望等に関する協議等も行いました。

また、報告事項では、本年11月6日に佐賀市で開催される「第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会」の概要（別掲）を紹介しました。

理事会終了後には、平成28年度以降の「産業廃棄物適正処理推進センター基金」への協力について環境省産業廃棄物課の角倉課長より説明が行われ意見交換を行ったほか、タスクフォースの加藤座長よりこれまでの活動状況の報告と事業者アンケート結果の概要の説明が行われました。

（総務部・古川）

全国正会員事務局責任者会議を開催

平成27年度第1回正会員事務局責任者会議を7月31日、東京都港区のアジュール竹芝で開催しました。

今回の事務局責任者会議は、平成27年度における事業運営の概要として、①電子マニフェスト、②許可講習会、③廃棄物処理法等改正、④委員会及び部会の交通費支給時期の変更、⑤タスクフォースの活動状況、⑥連合会の低炭素社会実行計画のポイント、の6項目を主な議題とし、各議題に関する連合会担当者からの説明・報告、正会員事務局責任者との意見交換等を行いました。

このうち電子マニフェストについては、平成28年度の運用支援事業に関する当連合会と公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターとの協議の状況等を報告しました。また、廃棄物処理法等改正では、7月8日に開催した法制度対策委員会での検討状況を報告し、廃棄物処理法の見直しに関する当連合会意見の集約に向けた作業スケジュール等を提示しました。さらにタスクフォースについては、産廃処理業の振興策に関する事業者アンケートの結果を紹介するとともに、現在、タスクフォース報告書のとりまとめの作業を進めていることを報告しました。

（総務部・古川）

第14回全国大会に関するお知らせ

毎年秋の恒例行事となっております「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を、今年度は佐賀県佐賀市にて開催することとなりましたのでお知らせします。今回の全国大会は、基調講演を山田正人先生（国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター廃棄物適正処理処分研究室長）にご依頼しているほか、パネル討論会も企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。

- (1) 日時 11月6日 13:30~17:30
 (2) 会場 ホテルニューオータニ佐賀「鶴の間」
 佐賀県佐賀市与賀町1番2号
 TEL 0952-23-1111（大代表）

(3) 開催次第

- ①基調講演
 テーマ「産業廃棄物処理と海外展開・海外事情」（仮題）
 講師 山田 正人氏
 国立環境研究所廃棄物適正処理処分研究室長
 ②環境大臣表彰受賞式典（産業廃棄物関係事業功労者）
 ③パネル討論会
 テーマ「大規模災害に備える災害廃棄物対策」（仮題）
 コーディネーター、パネリストは調整中。

*全国大会の終了後は、同会場にて交流会（18:00~20:00、参加費有料）を開催します。

第2回 産業・資源議員連盟幹部との懇談会を開催

産業・資源循環議員連盟幹部と当連合会幹部等との第2回目の懇談会が、環境省、国土交通省も参加され、7月14日に参議院議員会館において開催されました。

懇談会はあかま二郎議員連盟事務局長の司会で進められ、最初に、片山さつき議員連盟事務総長より「環境省、国土交通省が同席のもと協議のための懇談会を開催することとなった。骨太の方針の中には、廃棄物・リサイクルに関する項目を沢山盛り込むなど相応の成果も上がりつつある。」との開会挨拶があり、続いて、田中和徳議員連盟会長代行から「東京オリンピック・パラリンピック、リニア新幹線など大規模工事が控えており、それらから発生した廃棄物のリサイクルを目指すことにより、品格のある国としてこの分野で先進国になる必要がある。」と挨拶がありました。

引き続き、石井邦夫連合会会長から、「建設廃棄物のリサイクル、低炭素社会の実現に向け、国の支援、力添えをお願いする。」と挨拶があり、議事に入りました。

議論のテーマは、①廃コンクリートと建設汚泥に関する適正処理の推進及び再生利用の促進、②全国産業廃棄物連合会低炭素社会実行計画であり、森谷専務理事及び浜野建設廃棄物部会長から具体的事例を交えながら説明しました。

意見交換では、議員連盟の先生方から次のような発言があり、活発な意見交換が行われました。

廃棄物の有効利用は大変重要であり、わが国として「もの造り」だけではなく、適正処理や廃棄物の利活用にも力を入れる必要がある。再生品の利用を促進するために何が必要か、廃棄物該当性の判断事例など具体的な問題や、どのようにして欲しいのか現状について詳しく教えて欲しい。低炭素社会の実現のために、例えば補助金の制度を検討するなど業界を後押しする政策を考える必要がある。継続的な支援方策を検討することで国民の期待に答えて参りたい。

当連合会から提出した要望書案は、議員連盟において取り扱いを検討して頂くこととなりました。最後に、今後も中身のある活動を継続していくことを確認し懇談会は終了しました。

当日の出席者は次の方々です（順不同・敬称略）。

【産業・資源循環議員連盟】

田中和徳（会長代行）、渡辺博道（幹事長）、吉野正芳（幹事長代行）、片山さつき（事務総長）、あかま二郎（事務局長）

【公益社団法人全国産業廃棄物連合会】

石井邦夫（会長）、門脇生男、城田裕司、小田島繁信、永井良一、武田全弘、本田昭、三谷純夫（以上、副会長）、高橋俊美（低炭素社会担当）、浜野廣美（建設廃棄物部会長）、森谷賢（専務理事）、香川智紀（事務局）

【全国産業廃棄物連合会政治連盟】

國中賢吉（理事長）、松澤博三、藏本忠男（以上、副理事長）、川本義勝（業法担当理事）、木村亮一（理事）、土井洪二（事務局長）

【環境省】

鎌形浩史（廃棄物・リサイクル対策部長）、山本昌宏（企画課長）、角倉一郎（産業廃棄物課長）、水谷好洋（産業廃棄物課課長補佐）

【国土交通省】

中神陽一（大臣官房技術参事官）、森若峰存（環境・リサイクル企画室長）、種蔵史典（環境・リサイクル企画室課長補佐）

（文責：香川、土井）

青年部協議会 第16回通常総会開く

青年部協議会の第16回通常総会が、7月24日に東京の青山ダイヤモンドホールで開催されました。

今回の通常総会は、栃木県産業廃棄物協会青年部の仲田陽介氏の司会による進行で、連合会の石井邦夫会長からのご祝辞、愛知県産業廃棄物協会青年部の加山順一郎氏を議長として会が進行されました。

総会の議案審議として、「第1号議案 平成26年度事業報告承認の件」及び「第2号議案 平成26年度収支決算報告承認の件」、「第3号議案 平成27年度事業計画承認の件」及び「第4号議案 平成27年度収支予算案承認の件」、「第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件」をそれぞれ説明し、賛成多数で承認されました。

総会後は災害復興活動事業報告、スプリングカンファレンス2015の検証、そして環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 産業廃棄物課課長 角倉一郎様による講演会「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」を行いました。議案審議及び講演会等を終え、第16回通常総会は無事閉幕しました。

今回の通常総会をもって第5代会長の加山順一郎氏ほか、5名の役員の方たちが退任されました。2年間、大変お疲れ様でした。

通常総会閉会後に開催した懇親会には、環境省の角倉課長、連合会の森谷専務も出席いただきました。懇親会の冒頭、第6代の会長となった仲田陽介会長が挨拶し、新体制における抱負を述べました。

なお、新役員は次のとおりです（敬称略）。

◎会長 仲田陽介（栃木）

◎副会長 荒井寛（山形）、有吉嘉一郎（東京都）、橋泰行（富山）、浅井明利（愛知）、北角治太（滋賀）、藏本悟（岡山）、松本英高（香川）、山下栄（宮崎）

◎統括幹事 吉田典宏（茨城） ◎幹事 千葉智英（岩手）、江積栄一（群馬）、瀬尾敬太郎（福井）、小塚将樹（岐阜）、梅崎晃平（兵庫）、大前慶幸（広島）、沖川学（香川）、赤嶺太介（沖縄） ◎監事 林宏道（長野）、三輪陽通（鳥取）

連合会の皆様、そして青年部の皆様、新体制となった青年部をよろしく申し上げます。

（報告：青年部協議会・仲田さん）



連合会からのお知らせ

●産廃処理業景況動向調査結果について（2015.1-3月期）●

2015年1-3月期の景況判断DIは▲21となり、前回調査（▲23）より2ポイント増と5期ぶりに改善している。「従業員の不足」、「人件費の増加」と上昇傾向にあり、人手不足にともなう人件費上昇が引き続き企業のコスト負担要因となっている。

http://www.zensanpairon.or.jp/federation/02/06/keikyou1501_03.pdf

（調査部・戒能）

●平成27年度第2四半期のセーフティネット保証5号の指定業種となりました●

産業廃棄物処理業における業況の悪化を反映して、産業廃棄物処理業の4業種（産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業）が平成27年7月1日から9月30日までの対象業種に指定されました。

（調査部・戒能）

委員会・部会便り



●法制度対策委員会●

平成27年度第2回法制度対策委員会を7月8日に開催しました。

議題は、次期の廃棄物処理法の見直しに関する検討を中心に、タスクフォースによる事業者アンケートの結果や災害廃棄物対策に係る制度化の動向等について事務局より報告しました。

これらの議題のうち、廃棄物処理法の見直しについては、4月3日の前回委員会における決定事項に基づき、5月中旬から6月中旬にかけて実施した5部会の主要メンバーを主な対象とするアンケート結果の概要を報告し、意見交換を行うとともに連合会意見の取りまとめに向けた作業スケジュールを確認しました。次回の委員会は、11月24日に開催します。
(総務部・古川)

●マニフェスト推進委員会●

平成27年度第1回マニフェスト推進委員会を7月16日に開催しました。議題は、「電子マニフェスト運用支援事業（平成27年度電子マニフェスト運用支援事業、平成28年度電子マニフェスト運用支援事業の方向性、電子マニフェストの周辺事業の可能性）」、「紙マニフェストについて（消費税増税対応等）」でした。電子マニフェスト運用支援事業については、平成27年度事業実施に関する問題点・課題等を議論し、平成28年度事業に向けての検討課題・要望等について話し合いました。
(調査部・福田)

●最終処分部会 最終処分場早期安定化分科会●

平成27年度第1回最終処分場早期安定化分科会を7月28日に開催しました。

議題は①税制上の特例措置（維持管理積立金）、②廃棄物処理法改正に向けた意見のとりまとめ、③最終処分版委託契約書ひな形及び廃棄物データシート等の作成、④最終処分場に係る訴訟、⑤放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場に関する技術的検討調査でした。

議題①では、特例措置の継続要望に向けた実態調査の集計結果について報告を行いました。また、議題③では、最終処分版委託契約書ひな形の作成に向けた基本的な考え方について意見交換を行いました。
(調査部・福田)

関連団体ニュース

●『第74回全国産業安全衛生大会2015 in名古屋』のご案内●

中央労働災害防止協会では、毎年、全国産業安全衛生大会を開催しております。

今年度は、10月28日（水）から30日（金）までの3日間、名古屋市において開催されます。

<http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

官公庁関係ニュース

【環境省】

◇設備の高効率化改修支援モデル事業

<http://www.env.go.jp/press/101235.html>

◇経済性を重視した二酸化炭素削減対策支援事業のうち中小事業所における低炭素機器導入事業

<http://www.env.go.jp/press/101255.html>

◇省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業（2次募集）

<http://www.env.go.jp/press/101253.html>

平成27年度 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナーのお知らせ

当連合会では平成27年度「産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー」を下記の要領で開催致します。

8月上旬に受付開始予定であり、開始次第、連合会ホームページ等でお知らせ致します。

<日程>

◎営業コース			
開催地	開催日	会場名	定員(人)
東京	平成27年10月22日～23日	連合会会議室	各会場 30
東京	平成27年11月12日～13日	連合会会議室	
大阪	平成27年11月18日～19日	大阪商工会議所	
名古屋	平成27年12月2日～3日	ウィンクあいち	
◎現業管理コース			
開催地	開催日	会場名	定員(人)
名古屋	平成27年10月6日～7日	ウィンクあいち	各会場 30
大阪	平成27年10月29日～30日	大阪商工会議所	
東京	平成27年11月26日～27日	連合会会議室	

※いずれも初日9:45～2日目16:00までの予定です。

<カリキュラム>

	営業コース	現業管理コース
講義	<ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 営業社員の基本的役割 マーケティングの基本 プレゼンテーションの基本 	<ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 操業管理、設備保全、原価管理 プレゼンテーションについて 安全衛生管理概論
グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 顧客情報管理シートの作成 ケーススタディ、グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 安全風土づくりの研究 ケーススタディ、グループワーク

※すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。

※本セミナーは、各都道府県等の人材育成支援制度や継続学習制度（CPDS。ただし現業管理コースのみ）に活用できます。



●INDUST 8月号特集「環境産業の低炭素化」●

COP21・パリの開催が迫っています。わが国の温室効果ガス削減目標値の議論が進められるなか、その前段階として、2030年のエネルギー需給構成比を決めるエネルギーミックスが改定されました。国を挙げた低炭素化の動きがいよいよ再スタートを切ろうとしている中、環境産業の尖兵となる産業廃棄物処理業界でも低炭素化実行計画を策定しました。業界はその威信を賭け、どこまで国の目標に貢献できるのでしょうか。今号は低炭素化を特集します。

(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (8月19日～9月16日)

【8月】

- 19日 産業廃棄物処理実務者研修会 (千葉)
- 20日 第1回混合廃棄物分科会
- 28日 産業廃棄物処理実務者研修会 (青森)

【9月】

- 4日 産業廃棄物処理実務者研修会 (茨城)
- 16日 青年部協議会幹事会

